

## \* 感染症情報 \*

### <RSウイルス感染症>

- 1) 病原体・・・RSウイルス
- 2) 潜伏期間・4～6日
- 3) 症状・・・呼吸器感染症で、乳幼児期に初感染した場合の症状が重く、特に生後6ヵ月未満の乳児では重症な呼吸器症状を生じ、入院管理を必要となる場合もある。1度かかっても十分な免疫を得られず何度も罹患する可能性があるが、再感染した場合は徐々に症状が軽くなる。
- 4) 感染経路・飛沫感染、接触感染
- 5) 予防・・・ワクチンや抗ウイルス薬の開発が進められているが、まだ実用化され  
治療法 していない。飛沫、接触感染の為手洗いの励行など一般的な予防法の  
励行が大切である。
- 6) 登園の目安・発熱や呼吸器症状が消失して、全身症状が安定してから登園を再開  
するようお願いいたします。咳症状がある場合は咳エチケットとし、  
マスク着用をお願いいたします。  
登園時には、保護者記入の登園許可証を持参ください。